

# 調査・研修等計画届出書

令和 4年 12月23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 5年 1月10日 ( 1日)	
調査先・研修名	With コロナ時代の 地域公共交通特別講座	
会場名 (会場所在地)	地方議員研究会 (リファレンス新有楽町ビル)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	高齢化の進展・人口減少に対応した 交通まちづくり 地方都市と地域公共交通の現状 自家用車有償旅客運送やデマンド交通などの地域が選べる 選択肢 等 地域公共交通活性化再生法の改正と 地域公共交通計画 地域公共交通活性化再生法の改正 地域公共交通計画作成と連動した補助制度 等	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名		

※行程表を添付してください。

## withコロナ時代の 地域公共交通特別講座

10:00~12:30

### 高齢化の進展・人口減少に対応した 交通まちづくり

- ・地方都市と地域公共交通の現状
- ・地域公共交通の負のスパイラルからの脱却
- ・自家用有償旅客運送やデマンド交通などの地域が選べる選択肢
- ・地域公共交通のまちづくりに与える効果

1/10  
火曜日

2/20  
月曜日

14:00~16:30

### 地域公共交通活性化再生法の改正と 地域公共交通計画

- ・地域公共交通活性化再生法の改正
- ・地域公共交通計画作成と連動した補助制度
- ・輸送資源の総動員による公共交通ネットワークの構築
- ・独占禁止法の適用除外と共同経営計画
- ・地域公共交通計画作成/見直し時のポイント
- ・地域(共同体)で支えるための仕組みづくり

10:00~12:30

### 交通・観光・まちづくりの コロナからの再生

- ・コロナが与えた地域公共交通への影響
- ・交通崩壊を防ぐための利用促進支援策
- ・共同経営や公設民営など自治体の公共交通への関わり方の見直し
- ・観光事業の回復と品質の見える化
- ・交通データを活用した災害対応への貢献

1/11  
水曜日

2/21  
火曜日

14:00~16:30

### CASE/MaaS/DXを活用した これからの公共交通

- ・自治体におけるDXの捉え方
- ・自動運転や電動車両などの次世代自動車技術の現状
- ・公共交通オープンデータの活用によるデジタル化の推進
- ・MaaS(Mobility as a Service)による公共交通が「ある」まちづくり
- ・デマンド交通だけでなくICT技術を活用したサービスの高度化
- ・ICTだけでなくアナログでも便利にできること

講師 井原 雄人 いはら ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授  
株式会社早稲田大学アカデミックソリューション 社会連携企画部 統括研究員  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。  
博士(学術・早稲田大学)

紹介

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発から、それらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



# 調査・研修等報告書

令和 5年 1月19日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一 (印)

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 5年 1月10日 ( 1日)
調査先・研修名	With コロナ時代の 地域公共交通特別講座
会場名 (会場所在地)	地方議員研究会 (リファレンス新有楽町ビル)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	高齢化の進展・人口減少に対応した 交通まちづくり 地方都市と地域公共交通の現状 自家用車有償旅客運送やデマンド交通などの地域が選べる 選択肢 等  地域公共交通活性化再生法の改正と 地域公共交通計画 地域公共交通活性化再生法の改正 地域公共交通計画作成と連動した補助制度 等
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
高齢化の進展・人口減少に対応した 交通まちづくり ★ 地域公共交通はまちづくりの手段 ・地域公共交通を交通事業者の内部補助や行政からの赤字補填だけで維持することは困難となっている。 ・「移動手段」としてだけでなく、地域資源と組み合わせることで「まちづくりの手段」として捉えることが必要となる。 「日常」も「非日常」も「課題」さえも地域資源として活用	

★ 地域公共交通に求められる役割と価値

地域住民の移動手段の確保

- ・ 運転のできない学生・生徒や高齢者、障害者、妊婦等の交通手段  
人の交流の活発化
  - ・ 観光客等の来訪者の利便性や地域内での回遊性の向上により人の交流を活発化  
まちのにぎわい創出や健康増進
  - ・ 外出機会の増加によるにぎわいの創出や歩くことによる健康増進  
コンパクトシティ+ネットワークの実現
  - ・ 都市機能を集約した拠点同士や拠点と居住地域を結ぶ交通手段の提供
- 利用している人だけでなく、何らかの理由で利用できない人も対象
- 移動手段としての価値だけではなく、移動手段があることによって得られる価値

地域公共交通は誰が維持するのか（地域公共交通活性化・再生法）

- ・ 国、行政、交通事業者に地域公共交通を維持する責務はない
- ・ 利用者も含めた関係者が連携して取り組むことが必要

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

地域公共交通のまちづくりに与える効果として愛知県瀬戸市の取り組みが紹介された。

菱野団地の概要（人口・高齢化） 人口減少に加えて、同時期に入居した世代が一斉に高齢化した。

高齢化の進行により顕在化した移動の課題 入居当時は歩けた 500mが歩けなくなり公共交通空白地域が拡大

従来のアンケート調査に加えて、多様な住民ニーズを把握するための市民ワークショップを開催し、これまで主な対象としていた高齢者だけでなく、利用する可能性のある（免許を持っていない）大学生・高校生にも参加を呼び掛けた。そして皆が利用したくなる理想（妄想）の交通のあるコミュニティを共有した。

市民ワークショップで検討した理想を実現するために菱野団地コミュニティ交通運行協議会を組織した。そして住民が自ら短期・長期で取り組むことの最優順位を決定した。

菱野団地再生検討ワークショップが開催され、これまでの「移動」の課題だけではなく、ワークショップの対象を共通課題である「団地再生」にまで検討範囲を拡大し、住民が考える新しい菱野団地の姿を共有し、住民自らが創りあげる成功体験から新たな団地再生の取り組みへと展開していった。

調査・研修の成果・考察  
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

交通サービスの役割分担の明確化と連携強化

- 鉄軌道・バス・タクシーに加え、地域の輸送資源を一体としてけいかくし、幹線・視線の役割分担が明確となっているか
- 交通サービスの連携により、利便性・効率性（ダイヤや運賃）を高める計画となっているか
- 特定の路線・区域・モード対象世代などに限定した計画になっていないか

広域性の確保

- 住民・利用者の日常的な生活圏の調査・分析の上で作成されているか
- 市町村を跨ぐ幹線交通を踏まえ、周辺自治体と連携が検討されているか

地域住民の協力を含む関係者の連携強化

- 法定協議会に地域住民の積極的な参加し計画が策定されているか
- 地域住民が主体的に参加するような事業内容が盛り込まれているか

まちづくり、観光振興などの地域戦略との一体性

- 都市計画や中心市街地活性化などまちづくりと一体となった計画となっているか
- 観光、健康、福祉や環境などの多様な分野との連携が図られているか

具体的で数値化された目標値を設定

- 課題や基本方針や対応した数値指標や目標値を設定しているか
- 目標値が住民を含めた関係者の間で共有されているか

まちづくりと連携する地域公共交通計画により地域に貢献するサービスが実現する。

# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
5 年 1 月 10 日付	高蔵寺駅	新幹線	往復	東京駅	828	km	13,200	円	10,240	円
	高蔵寺駅	JR	往復	新守山駅	23.4	km	480	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

23,920 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
4 年 10 月 13 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
4 年 10 月 14 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 0 円

宿泊費 合計

0 円

交通費 合計

23,920 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

23,920 円

## 高蔵寺 → 東京

2023/01/10(火) 09:00

09:01発 → 11:24着 総額 11,720円

所要時間 2時間23分 乗車時間 2時間5分 乗換 1回 距離 390.0km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 高蔵寺	[当駅始発] 3番線発			
09:01-09:31 30分	田 JR 中央本線(東海)(名古屋行)	やや前・後	6,600円		24.0km
乗換7分 待ち11分	○ 名古屋	8番線着 14番線発			
09:49-11:24 95分	新 のぞみ96号(N700系) (東京行)		↓	指定席 5,120円	366.0km
	○ 東京	15番線着			

## 記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

Copyright © 1996-2022 Jorudan Co.,Ltd. All Rights Reserved

## 高蔵寺 → 新守山

2023/01/10(火) 09:00 出発

09:01発 → 09:14着 総額 240円

所要時間 13分 乗車時間 13分 乗換 0回 距離 11.7km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 高蔵寺	[当駅始発] 3番線発			
09:01-09:14 13分	JR 中央本線(東海)(名古屋行)		240円		11.7km
	○ 新守山				

## 記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

( ) … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

Copyright © 1996-2022 Jorudan Co.,Ltd. All Rights Reserved